

# J P 労組北陸退職者の会会報

第33号

2022年1月1日  
発行責任者 近藤源一郎  
編集責任者 串田信行  
串田信行

## 新年明けましておめでとうございます



2020年10月25日、金沢市にオープンした国立工芸館

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様とご家族様がお健やかに令和4年の新年をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。新型コロナウイルスへの対応としてワクチン接種とか日頃の行動の自粛、マスクの着用と手洗いの励行などの保健衛生に万全を期したことがウイズコロナの言葉通り共存共栄する社会、安心して生活が営まれる社会であることを実証させました。

新しい年を迎えるにあたって、この2年間出来なかった退職者の会の本来目標『親睦と交流』を各支部・連協で企画・実践をすることを期待しています。また、今年は参議院選挙が7月に予定されています。幸いにしてJ P 労組中央本部の『しば慎一さん』が立候補します。『しば慎一』を私たちの代表として国会に送り込むために、昨年の衆議院選挙で味わった辛酸に凹むことなく果敢に挑戦して退職者の会の意地を見せようではありませんか。皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。令和4年元旦

北陸地方退職者の会 会長



近藤 源一郎

## 謹賀新年

会長 近藤 源一郎

副会長 川添 晃

事務局長 串田 信行

幹事 本間 重雄

幹事 東秀 雄

幹事 尾田 隆

幹事 曾谷 修

幹事 政所 峯子

幹事 塚本 隆

幹事 (中央幹事兼任) 坂本 哲治

会計監査 西野 松一

会計監査 富山 富山東部

石川 西 伊知郎

石川 郵政金沢

# 各級議会等のみなさま方から お年始のごあいさつがありました 謹んでご紹介します。

- 参議院議員 難波 奨二 (J P 労組組織内議員)
- 参議院議員 小沢 雅仁 (J P 労組組織内議員)
- 衆議院議員 近藤 和也 (石川県3区 J P 労組北陸支援議員)
- 前衆議院議員 斉木 武志 (立憲民主党福井県連代表)
- 福井県議会議員 西畑知佐代 (J P 労組北陸組織内議員)
- 津幡町議会議員 竹内 竜也 (J P 労組北陸組織内議員)
- 石川県議会議員 打出喜代文 (J P 労組北陸支援議員)
- 福井県議会議員 辻 一憲 (J P 労組北陸支援議員)
- 金沢市議会議員 田中美絵子 (JP 労組北陸退職者の会会員、支援議員)

# あけましておめでとーびーざいます



退職者の会のみなさま方には、健康やかに新年をお迎えのこころ、お慶び申し上げます。  
ここ2年間は、新型コロナ

ナウシルス感染の拡大に伴い、諸活動の自粛や外出の制限、マスク着用、手洗いの励行など全国民は大変不便な生活が求められ、親睦と交流を主目的とした退職者

の会の活動も中止・延期となり寂しい思いをされたことでしょう。  
本年は、まずは新型コロナ

ナウシルス感染症が早期に終息することを祈りつつ、7月の参議院選挙に中央本

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます



昨年2月、次期参議院議員選挙の候補予定者として擁立を決定いただき約10カ月が経過しました。この間、全国各地の間や退職者の会会員の間への訪問と、Web等での意見交換を行ってきました。

こうした皆さんとの意見交換・交流を通じて、自分が政治の場で取り組まなければならぬことが、どんな明確になっていることを感じています。

部副執行委員長「しば慎一」が立候補するのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

会員のみなさま方が笑顔で明るい生活を送ることができまよう心からお祈り申し上げますとともに、本年も J P 労組北陸地方本部に対しご支援・ご協力をお願い

い申し上げます、新年のごあいさついたします。  
J P 労組北陸地方本部  
執行委員長 黒崎 寿



者の代表として政治に参画してまいります。

難波さんが目指したものを受け継ぎ、小沢さんをはじめ先輩議員と連携しながら、組合員・退職者の皆さんの期待に添えていく決意です。

明るい未来をつくるため、ご協力をお願いいたします。

皆さまにとって、輝かしい年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

J P 労組中央本部  
副執行委員長 しば慎一

# 北陸地方退職者の会「第1回幹事会」開催

## 「しば慎一」勝利・会員拡大の取り組みを現退一体で確認

11月12日（金）、金沢市「1+1ビジネスプラザ武蔵」において、北陸地方退職者の会「第1回幹事会」を幹事会役員7名出席（1名欠席）、J P 労組北陸地本から黒崎執行委員長はじめ専従役員6名（全員）に参加いただきました開催しました。

### ◎ J P 労組退職者の会「地方代表者会議」報告

11月4日、東京において中央幹事と全国の各地方代表者が集まり発足後、初めての「地方代表者会議」開催されました。北陸からは近藤会長と坂本中央幹事が参加しました。

約2時間の会議では、①第49回衆院選の結果、② J P 労組退職者の会「地方代表者会議」報告、③第26回参院選「しば慎一」の取り組み、④会員拡大の取り組みについて協議しました。

### ◎第49回衆院選の結果

J P 労組北陸地本の推薦候補6名（すべて小選挙区と比例区重複）は、全員が小選挙区で敗れ、石川3区の「近藤和也」のみ比例復活を果たしました。また、支持した立憲民主党は、北信越比ブロック比例区（定

数11名）において3名の当選にとどまりました。

### ◎第26回参議院選挙

J P 労組中央本部「しば慎一」副委員長の勝利に向け、①後援会加入目標（会員×3人）を早期に達成する、②その上で、しっかりと「しば慎一」の得票数の確定・増加活動に取り組む、③活動の基本は会員との触れ合い活動とする、と意識統一をしました。

### ◎会員拡大に向けて

北陸の会員数は、発足時（2014年）は1200名を超えていたが現在は約930名となっています。拡大活動は最重課題であり、①「会員数×5%」の加入拡大を目指す、②現役のサポートが必要であり、活動拠点となる支部段階における現退の役員相互の意思疎通をはかる、③今後、

退職者の会は未加入退職者の拡大を中心として取り組み、現役組織には高齢 J P 組合員に「協力会員兼正会員」加入申込書の記載・回収を要請していく、ことを J P 北陸地本役員と確認しました。

◎今後の活動スケジュール  
「しば慎一」勝利と会員拡大の取り組みを連動させ、会員に支援・支持してもらえよう、会員との触れ合い・サポート活動を前進させていくことを意思統一しました。

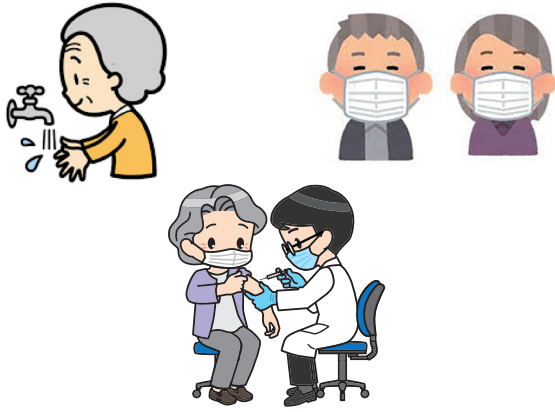
会員の皆さまのご理解ご協力よろしく願いたします。



11月12日開催の「第1回幹事会」模様

# 厳しい状況乗り越え、楽しい人生を送ろう

## マスクの着用と手洗いの励行



2022年の干支は『壬寅（みずのえとら）』です。  
 『壬』は、「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、『寅』は「蟻（ミリス）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため、『壬寅』は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。

今年も引き続き新型コロナウイルス、特にオミクロン株が猛威を振るうとの予測があるとともに、冬の気候についても降雪量は平年並みまたは平年より多い確率が40%〜50%とのことです。

また、2025年には、65歳以上の3人に1人が軽度の認知症も含めた「認知症」にかかるとの予測も言われております。

『壬寅（みずのえとら）』にあやかって、このような厳しい予測などお互い乗り越えて、楽しい人生を送りましょう。そして私たち退職者の会の本来目標である「親睦と交流」が出来るよう頑張りましょう。

## その「物忘れ」認知症の始まり



あれー、どうしたのだろう？

**認知症の予防**

- 他人と交流する
- 運動する
- 達成感を味わう
- 生活習慣病を予防・治療する
- 好きな趣味などを無理なく続ける

**認知症の症状**

- 無いものが見える幻覚
- 物盗られ妄想
- 漏らす・便を手取る
- 徘徊して帰れない